

江田島市地域経済動向調査（令和6年2月）

■全国の景況

◇月例経済報告（令和5年12月号より）

『景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している』

- ・個人消費は、持ち直している。
- ・設備投資は、持ち直しに足踏みがみられる。
- ・住宅建築は、弱含んでいる。
- ・公共投資は、底堅く推移している。
- ・輸出は、このところ持ち直しの動きがみられる。輸入は、おおむね横ばいとなっている。貿易・サービス収支は、赤字となっている。
- ・生産は、持ち直しの兆しがみられる。
- ・企業収益は、総じてみれば改善している。企業の業況判断は、改善している。倒産件数は、増加がみられる。
- ・雇用情勢は、改善の動きがみられる。
- ・国内企業物価は、横ばいとなっている。消費者物価は、このところ上昇テンポが緩やかになっている。

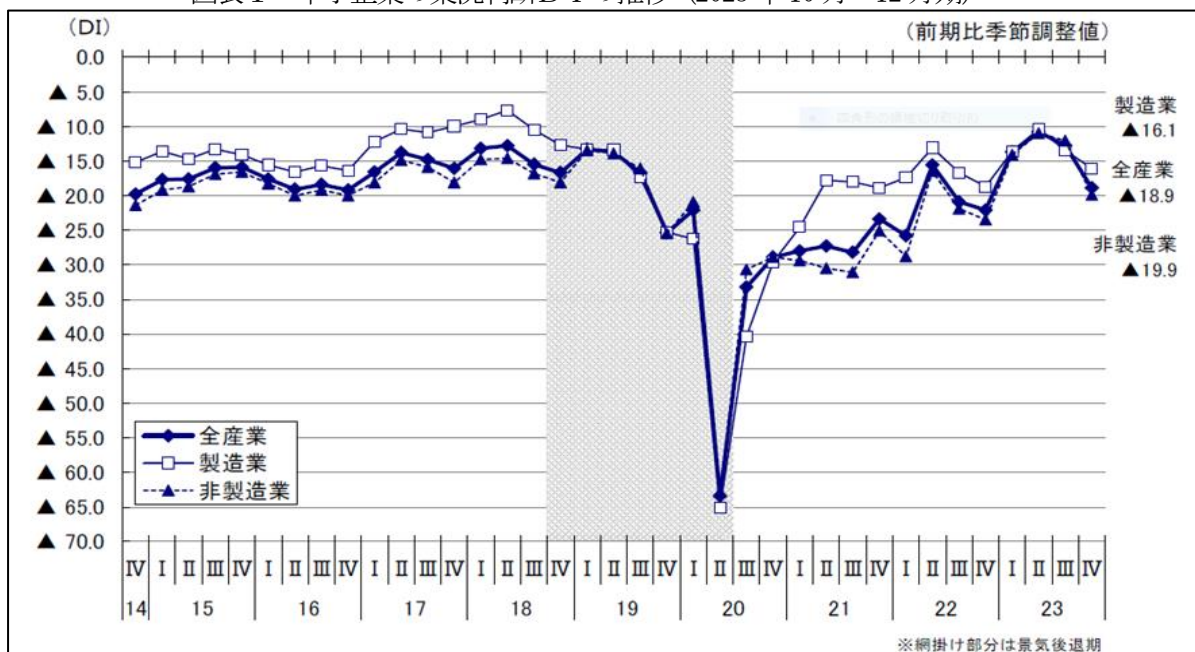
『先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。』

◇中小企業景況調査（2023年10～12月より）

『中小企業の業況判断D Iは、2期連続して低下した。』

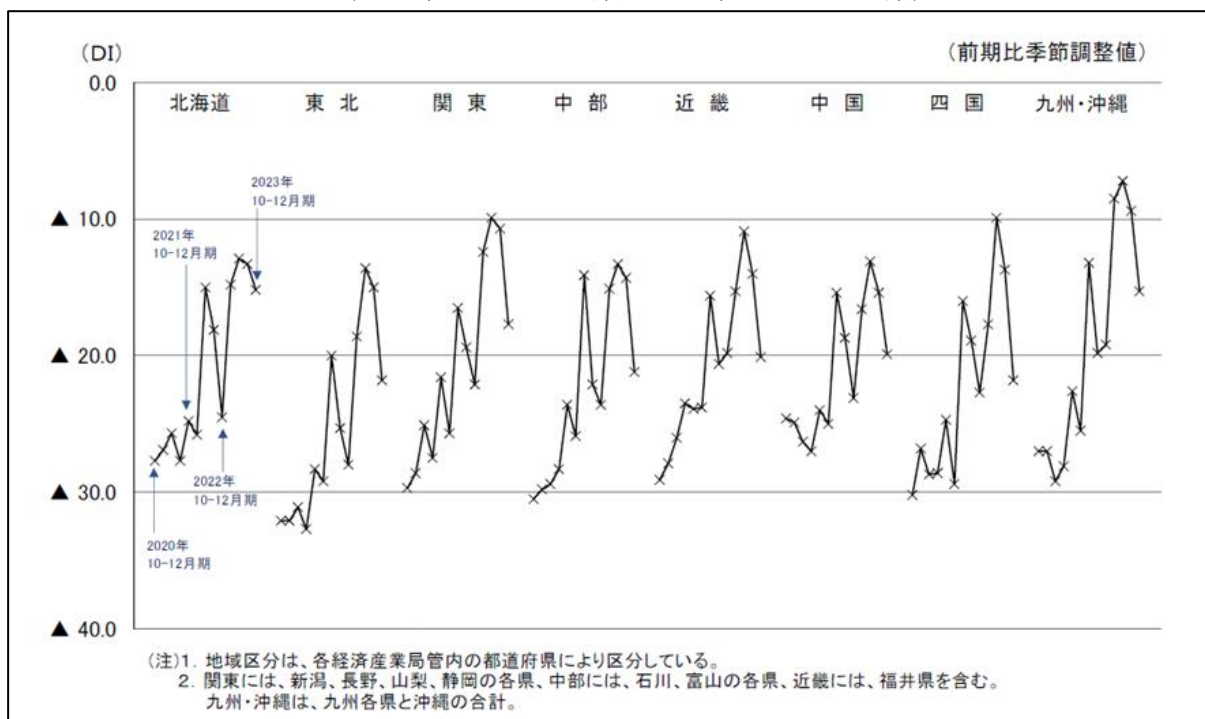
- ・2023年10～12月期の全産業の業況判断D I（「好転」－「悪化」）は、（前期▲12.8→）▲18.9（前期差6.1ポイント減）となり、2期連続してマイナス幅が拡大した。
- ・製造業の業況判断D Iは、（前期▲13.5→）▲16.1（前期差2.6ポイント減）と2期連続してマイナス幅が拡大した。
- ・非製造業の業況判断D Iは、（前期▲12.1→）▲19.9（前期差7.8ポイント減）と2期連続してマイナス幅が拡大した。

図表1 中小企業の業況判断D Iの推移（2023年10月～12月期）



- ・地域別の業況判断D I（全産業）は、四国、関東、中部、東北、近畿、九州・沖縄、中国、北海道のすべての地域でマイナス幅が拡大した。

図表2 中小企業の地域別業況判断D Iの推移（全産業）
（2020年10月－12月期～2023年10月－12月期）



■広島県の景況

◇広島県内経済情勢報告（令和6年2月）

『県内経済は、緩やかに回復しつつある』

・個人消費：「緩やかに回復しつつある」

業態別にみると、百貨店販売は、衣料品などが低調であり、前年を下回っている。家電販売は、暖房器具などが低調であり、前年を下回っている。スーパー販売は、外出関連用品などが好調であり、前年を上回っている。ドラッグストア販売は、医薬品などが好調であり、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、普通乗用車が好調であり、前年を上回っている。このように、個人消費は、全体では、緩やかに回復しつつある。

・生産活動：「緩やかに持ち直しつつある」

鉄鋼は、海外向けの需要が低調なことから減少している。プラスチック製品は、ノートパソコン向けの需要が低迷していることなどから、減少している。一方、電気機械は、高い生産水準を維持している。輸送機械は、半導体不足の改善などから増加している。一般機械は、EV 向けの需要が堅調なことから増加している。このように、生産活動は、全体では、緩やかに持ち直しつつある。

・雇用情勢：「持ち直している」

有効求人倍率は、引き続き高水準で推移している。新規求人数は、前年を下回っているものの、ほぼ横ばいで推移している。このように、雇用情勢は持ち直している。

・設備投資：「5年度は前年度を上回る見込み」

○ 製造業では、「その他製造業」などで減少するものの、「自動車」、「生産用機械」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

○ 非製造業では、「建設」などで減少するものの、「電気・ガス・水道業」、「運輸、郵便」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

・企業収益：「5年度は増益見込み」

○ 製造業では、「非鉄金属」などで減益となるものの、「自動車」、「金属製品」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

○ 非製造業（除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」）では、「宿泊・飲食サービス」などで増益となるものの、「運輸、郵便」、「情報通信」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

・企業の景況感：『上昇』超幅が拡大している

企業の景況判断 BSI は、「上昇」超幅が拡大している。なお、先行きは「上昇」超幅が縮小する見通しとなっている。

・住宅建設：「前年を下回る」

新設住宅着工戸数でみると、分譲住宅、給与住宅が増加しているものの、貸家、持家が減少していることから、前年を下回っている。

・輸 出：「前年を上回る」

輸出（円ベース）は、鉄鋼などが減少しているものの、自動車、一般機械などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジアなどで減少しているものの、西欧などで増加している。

なお、輸入（円ベース）は、石炭、化学製品などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、大洋州、中東欧・ロシア等などで減少している。

図表3 広島県の主要経済指標

	鉱工業生産指数 (季節調整値) (2015年=100)		電力需要 実績 伸び率 前年比	百貨店・ スーパー 販売額 伸び率 前年比	乗用車 新車登録・ 届出台数 前年比	消費者 物価 伸び率 前年比 (広島市)	新設住宅着工戸数 伸び率、前年比			公共工事 請負金額 伸び率 前年比
	指数	前月(年、期)比					戸数合計	持家	貸家	
2019年	100.7	0.4	1.4	△ 0.6	△ 3.6	0.1	2.2	2.6	△ 12.0	※ 27.3
20	89.4	△ 11.2	△ 2.8	△ 5.1	△ 9.5	0.2	△ 14.8	△ 9.8	△ 11.3	※ 4.7
21	92.9	3.9	△ 1.0	△ 0.6	△ 4.2	△ 0.4	11.0	9.2	14.7	※△ 8.6
22	97.5	5.0	2.7	2.3	△ 6.1	2.7	0.9	△ 14.9	17.4	※ 8.9
22年 7～9月	101.1	6.4	6.5	3.4	3.7	3.1	△ 0.9	△ 19.4	13.8	11.9
10～12	99.8	△ 1.3	4.0	1.5	10.9	4.5	△ 16.6	△ 21.5	△ 9.3	△ 10.2
23年 1～3	91.3	△ 8.5	1.1	5.4	22.5	4.3	17.9	△ 11.5	6.9	15.0
4～6	98.2	7.6	△ 0.8	3.2	27.8	3.2	△ 9.5	△ 11.2	△ 2.0	0.8
7～9	98.0	△ 0.2	△ 1.4	4.2	11.0	3.0	△ 4.0	3.4	△ 7.2	△ 9.0
22年 10	103.2	△ 0.3	7.8	2.5	35.2	4.4	△ 6.0	△ 28.1	3.0	3.8
11	99.2	△ 3.9	△ 0.1	0.2	1.1	4.4	△ 4.0	△ 20.8	18.1	△ 23.4
12	96.9	△ 2.3	4.1	1.8	2.8	4.7	△ 38.7	△ 14.6	△ 50.3	△ 6.8
23年 1	88.5	△ 8.7	3.7	7.3	26.2	4.9	△ 5.1	△ 19.5	△ 5.8	△ 23.9
2	92.4	4.4	0.8	5.3	29.5	4.1	34.0	△ 9.3	24.6	143.2
3	92.9	0.5	△ 1.1	3.5	15.2	3.7	26.6	△ 5.5	6.2	△ 6.0
4	103.7	11.6	△ 2.9	5.5	25.5	3.8	△ 31.0	△ 18.1	△ 14.4	△ 23.4
5	97.6	△ 5.9	2.1	1.4	34.9	2.9	7.6	△ 0.6	△ 2.5	△ 62.2
6	93.4	△ 4.3	△ 1.5	2.6	24.3	3.1	0.6	△ 12.9	15.0	100.4
7	97.1	4.0	0.0	4.6	11.1	3.1	△ 27.9	2.6	△ 32.6	△ 8.3
8	96.2	△ 0.9	△ 2.1	6.2	16.5	3.1	△ 6.4	6.5	10.2	△ 8.0
9	100.8	4.8	△ 1.9	1.7	6.8	2.9	31.9	0.8	5.7	△ 10.5
10	P 97.5	△ 3.3		0.2	10.1	3.0	△ 20.9	△ 14.2	△ 20.4	24.7
11				0.8	8.3	2.5	△ 23.8	△ 20.4	△ 50.5	△ 14.6
調査機関	広島県統計課		資源エネルギー庁	中国経済産業局	中国運輸局 自動車検査部	総務省	国土交通省			西日本建設業保証

(注) Pは速報値、鉱工業指数の暦年値は原指数。電力需要実績は特別高圧(大規模工場やデパート、オフィスビル)と高圧(中小ビルや中小規模工場)の合計値。百貨店・スーパー販売額の伸び率は店舗調整値。公共工事請負金額と有効求人倍率の※は年度、所定外労働時間は事業所規模5人以上。

	有効求人 倍率 (倍)	常用雇用指数 (2020年=100)		所定外 労働時間 伸び率 前年比	銀行		でんさい発生記録請求		企業倒産 (負債1千万円以上)	
		指数	前年比		実質預金 (億円)	貸出金 (億円)	件数 (件)	金額 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)
2019年	※ 1.96	99.8	1.8	△ 1.3	※ 160,991	※ 117,171	75,290	4,519	190	24,866
20	※ 1.29	100.0	0.2	△ 15.3	※ 173,287	※ 122,385	84,052	4,098	165	29,569
21	※ 1.38	99.9	△ 0.1	8.6	※ 178,945	※ 124,843	111,037	5,167	106	17,021
22	※ 1.57	101.3	1.4	△ 0.7	※ 183,591	※ 131,090	132,860	6,568	106	31,015
22年 7～9月	1.58	102.6	2.7	0.5	181,240	129,024	33,567	1,606	22	2,659
10～12	1.64	100.4	0.5	△ 1.2	182,291	130,806	35,895	1,828	36	3,988
23年 1～3	1.58	101.6	1.6	2.5	183,591	131,090	36,439	1,782	35	2,459
4～6	1.55	104.9	2.4	△ 2.8	185,425	131,553	38,616	1,943	30	2,203
7～9	1.53	105.2	2.5	△ 3.5	186,354	132,784	39,383	1,883	36	7,501
22年 10	1.63	100.5	0.6	3.9	181,822	129,709	11,720	598	10	1,161
11	1.64	100.5	0.5	△ 3.9	180,928	129,903	12,052	606	15	1,743
12	1.65	100.1	0.5	△ 3.1	182,291	130,806	12,123	624	11	1,084
23年 1	1.64	99.6	0.2	1.9	180,275	130,359	12,281	633	7	563
2	1.56	102.7	2.2	0.9	181,489	130,789	11,567	533	11	487
3	1.55	102.4	2.5	4.4	183,591	131,090	12,591	616	17	1,409
4	1.55	104.4	2.4	0.9	185,322	131,418	13,117	748	9	410
5	1.53	105.1	2.6	△ 4.9	184,101	130,948	13,067	630	7	744
6	1.56	105.1	2.1	△ 4.5	185,425	131,553	12,432	564	14	1,049
7	1.53	105.4	2.4	△ 5.5	185,713	132,056	13,280	614	10	824
8	1.52	105.2	2.6	△ 4.9	186,416	132,146	13,232	653	13	4,258
9	1.53	105.1	2.5	0.0	186,354	132,784	12,871	616	13	2,419
10	1.53	104.9	4.4	△ 0.9	186,538	132,539	13,922	684	20	1,385
11	1.52						14,440	686	16	2,140
調査機関	広島労働局	県統計課			日本銀行広島支店		全銀電子債権ネットワーク		帝国データバンク広島支店	

(注) 有効求人倍率の※は年度で原数値。年度及び四半期の数値は月平均。銀行は国内銀行。信金の合計。実質預金、貸出金は月末残高、四半期は期末残高。年次値の※は年度。

■江田島の景況

◇中小企業景況調査（令和5年12月）

『江田島の景況は全国及び広島県の情勢を大きく下回っていると思われる。』

中小企業景況調査より、令和5年10月～12月の景況判断状況は次のとおりである。

- ・令和5年10月～12月期の広島県の全産業の業況判断D Iは▲21.4であり、全国と比較して、2.5ポイント低くなっている。
- ・江田島の数値は15社分の集計結果であり、参考値としてみていただきたいが、業況判断D Iは▲73.3であり、全国値・広島県値より大幅に低い値となっている。

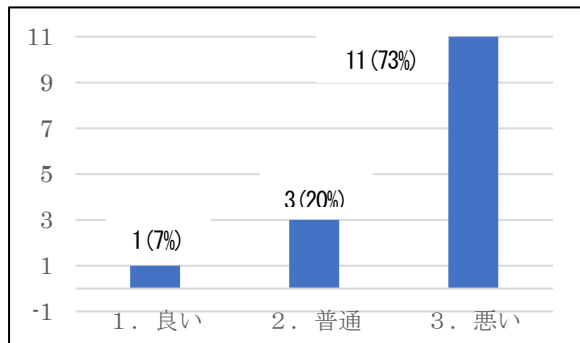
図表4 景況判断状況（全産業）

（前期比）

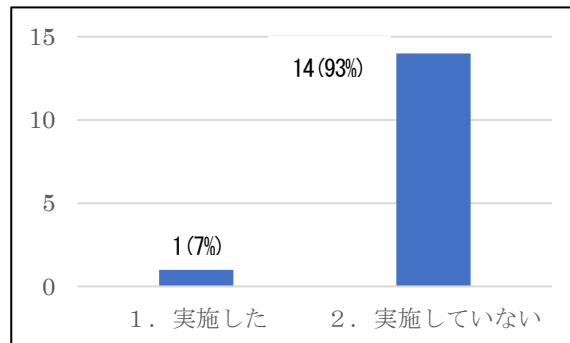
	2022年				2023年			
	1－3月	4－6月	7－9月	10－12月	1－3月	4－6月	7－9月	10－12月
全国	▲26.6	▲14.4	▲19.5	▲22.9	▲13.7	▲10.8	▲12.8	▲18.9
広島県	▲30.2	▲16.2	▲18.5	▲26.9	▲15.7	▲11.0	▲16.2	▲21.4
江田島市	▲66.7	▲66.7	▲73.3	▲57.1	▲53.3	▲46.7	▲46.7	▲73.3

- ・江田島市15社分の現在の景況感、設備投資状況は次のとおりである。

図表5 現在の景況感



図表6 2023年10月～12月の設備投資



- ・ 中小企業景況調査では、全国で18,833企業、江田島市商工会では15社が対象となっている。
- ・ 江田島市商工会調査においては、製造業では「原材料価格の上昇」が、建設業では「大企業の進出による競争の悪化」及び「官公需要の停滞」、小売業では「需要の停滞」が、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」となっている。

図表7 経営上の問題点

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
製造業	全国	原材料価格の上昇	需要の停滞	従業員の確保難
	江田島市商工会	原材料価格の上昇	原材料の不足 需要の停滞	原材料費・人件費以外の経費の増加
建設業	全国	材料価格の上昇	従業員の確保難	熟練技術者の確保難
	江田島市商工会	大企業の進出による競争の悪化 官公需要の停滞	材料価格の上昇 民間需要の停滞	その他
小売業	全国	仕入単価の上昇	需要の停滞	消費者ニーズの変化への対応
	江田島市商工会	需要の停滞	仕入単価の上昇	人件費以外の経費の増加
サービス業	全国	材料等仕入単価の上昇	利用者ニーズの変化への対応	従業員の確保難
	江田島市商工会	利用者ニーズの変化への対応	材料等仕入単価の上昇	店舗施設の狭隘・老朽化

◇保証月報（広島県信用保証協会月報）

江田島市内事業所の金融保証承諾及び保証債務残高の状況は次のとおりである。

- ・ 令和5年12月末時点の江田島市内中小企業の保証承諾件数は46件、金額は833百万円であり、前年同月比で増加している。
- ・ 令和5年12月末時点の江田島市内中小企業の保証債務残高件数は417件、金額は4,112百万円であり、前年同月比で減少している。

図表8 保証状況（江田島市・広島県）

（単位：百万円）

	2022年12月				2023年12月			
	保証承諾		保証債務残高		保証承諾		保証債務残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
江田島市	41	717	484	4,876	46	833	417	4,112
広島県	10,309	128,731	80,842	838,324	11,861	205,948	73,298	778,181

以上